

原料費調整(スライド)制度に基づく 2026年2月のガス料金について

当社は、原料費調整制度に基づき、2026年2月検針分に適用されるガス料金単価を算定いたしました。その結果、調整単位料金は別紙の通りとなり、2026年1月検針分に比べ、1 m³当たり18.18円（45カジュール地区：消費税込み）の減額となりました。

これにより、1 か月に24 m³のガスをお使いになる標準家庭（45カジュール地区）で、2026年1月検針分に比べ、436円（消費税込み）お支払額が減少いたします。

原料費調整制度は、原料の価格変動に応じて毎月単位料金を見直す制度です。今回は、2025年9月～2025年11月の平均原料価格と基準平均原料価格とを比較して、単位料金の見直しを行ったものです。

2026年2月検針分に適用する料金につきましては、当社の本社・指定店等の店頭での掲示や、1月の検針時に「ガスご使用量のお知らせ」（検針票）であらかじめお客さまにお知らせいたします。

なお、2026年2月検針分より、政府の支援で1 m³当たり18円値引きしております。

(別紙)

1. 平均原料価格の変動と単位料金の調整額

一般ガス供給約款第19条に伴う基準単位料金の原料費調整を下記の通り行います。

(1) 調整対象月	2026年2月			
(2) 原料価格変動額				
①基準平均原料価格	53,280円			
②平均原料価格(2025年9月から2025年11月までの実績)				
LNG(貿易統計値)	82,650円	×	0.9622	+
ブタン(貿易統計値)	85,460円	×	0.0389	+
プロパン(貿易統計値)	76,410円	×	0.0026	=
				(10円未満四捨五入)
				① 83,050円
③原料価格変動額				
原料価格変動額	=	① 83,050円	- 53,280円	= ② 29,700円
				(100円未満切捨て)
(3) 単位料金の調整				
①調整額の算定(消費税込み)				
a. 45メガジュール地区				
調整額	= 0.082 ×	② 29,700	÷ 100 × 1.10	= ③ 26.78円
政府支援の反映	=	③ 26.78	- 18.0	= ④ 8.78円
b. 100.4652メガジュール地区				
調整額	= 0.185 ×	② 29,700	÷ 100 × 1.10	= ⑤ 60.43円
政府支援の反映	=	⑤ 60.43	- 18.0	= ⑥ 42.43円

2. 標準家庭における影響額(45メガジュール地区)

1か月の ご使用量		2026年2月 適用料金	2026年1月 適用料金	増 減
24m ³	消費税込み	6,130円	6,566円	△ 436円

注1) ガス料金の計算は、下記により行います(供給約款の例)。

※ガス料金(税込み) = 基本料金 + 調整単位料金(基準単位料金 + 単位料金調整額) × ガスご使用量
(円未満の端数切り捨て。)

注2) 標準家庭におけるガス料金は、ご家庭1件当たり平均使用量/月(2016年度~2020年度の5か年平均)に基づき算定しています。

3. 2026年2月 適用料金（供給約款料金）

(1) 45カジュール地区

2026年1月検針分適用の1立方メートル当たり単位料金に対し、18.18円
減算して料金を算定いたします。

(円/月)

料金表(1か月ご使用量)	基本料金 (1か月当たり)	調整単位料金(1m ³ 当たり)	
		2026年2月※	2026年1月
料金表A(0m ³ から10m ³ まで)	897.60	221.24	239.42
料金表B(10m ³ を超え25m ³ まで)	954.80	215.65	233.83
料金表C(25m ³ を超え102m ³ まで)	1,342.00	200.51	218.69
料金表D(102m ³ を超える場合)	1,606.00	197.93	216.11

(2) 100.4652カジュール熊野地区

2026年1月検針分適用の1立方メートル当たり単位料金に対し、18.41円
減算して料金を算定いたします。

(円/月)

料金表(1か月ご使用量)	基本料金 (1か月当たり)	調整単位料金(1m ³ 当たり)	
		2026年2月※	2026年1月
料金表A(0m ³ から4m ³ まで)	897.60	469.88	488.29
料金表B(4m ³ を超え11m ³ まで)	954.80	455.58	473.99
料金表C(11m ³ を超え45m ³ まで)	1,342.00	420.38	438.79
料金表D(45m ³ を超える場合)	1,606.00	414.51	432.92

(3) 100.4652カジュール可部地区

2026年1月検針分適用の1立方メートル当たり単位料金に対し、18.41円
減算して料金を算定いたします。

(円/月)

料金表(1か月ご使用量)	基本料金 (1か月当たり)	調整単位料金(1m ³ 当たり)	
		2026年2月※	2026年1月
料金表A(0m ³ から4m ³ まで)	897.60	495.18	513.59
料金表B(4m ³ を超え11m ³ まで)	954.80	480.88	499.29
料金表C(11m ³ を超え45m ³ まで)	1,342.00	445.68	464.09
料金表D(45m ³ を超える場合)	1,606.00	439.81	458.22

※2026年2月検針分より、政府の支援で1m³当たり18円値引きしております。

(参考)

「原料費調整（スライド）制度」の概要

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格に対応して、1か月ごとに単位料金（1 m³当たり単価）を調整する制度です。
- 「基準平均原料価格（53,280円／t）」と「平均原料価格（3か月毎のLNG、LPGの輸入価格等により算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につきガス1 m³当たり0.082円（45ヶ¹ジュール地区の場合）の単位料金が調整されます。
- 原料価格の変動については、LNG・LPGとも貿易統計実績によります。

なお、2026年2月検針分より、政府の支援で1m³当たり18円値引きしております。

以 上